

目標達成計画

作成日：平成 28 年 3 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	排泄表によりご利用者様個々の排泄パターンを把握できるように努めているが、個々の排泄パターンに沿った排泄ケアができていない。	排泄表を使用し個々の排泄パターンに合わせた排泄ケアを行い自立支援に努める。	排泄表に確実にチェックを記入し、排泄表を元にご利用者様個々のアセスメントをスタッフと行き、タイミングを探り出しスタッフ統一で排泄ケアを行い自立支援を促していく。	12ヶ月
2	26	家族の状況やサービス計画の内容をスタッフが確認できていない状況がある。	サービス計画の内容を全てのスタッフが共有周知し日常生活支援に活用する。	アセスメント・モニタリング・計画作成の段階をスタッフを交えて行える環境を整え、スタッフが支援内容を理解し計画作成できるようにします。計画書はスタッフがいつでも確認できるよう配置します。	12ヶ月
3	34	スタッフにより様々な気付きはできているが、ヒヤリ・ハットなどでスタッフ全員に共有ができていない。	スタッフによる気付きをヒヤリ・ハットとしてスタッフ全員に共有を行い、改善に努める。	スタッフに気付きとヒヤリ・ハットがどういう意味があり必要なのか説明を行い理解を促した上で、気付きやヒヤリ・ハットを文書におこし、スタッフが共有できるよう環境を整えます。	12ヶ月
4	2	ご利用者様の地域社会との関わりや、外出支援、自立支援に向けた地域への相談はできているが、実践実行ができていない。	地域社会への関わりと外出支援、自立支援についてより地域と相談理解を深め、地域社会の協力を得て外出支援と自立支援の実践実行へつなげていく。	定期開催している運営推進会議や、地域の寄り合いや会議に参加させていただき、地域の方へ相談を行い理解を得てスタッフとも十分協議を行い実行する。	12ヶ月
5	35	地域連携を行った災害訓練・避難訓練ができていない。	地域連携を行った災害訓練・避難訓練・応急処置訓練を行う。	地域に対し、施設職員だけでは避難・救助は難しい現状を説明理解を促し、協力して訓練が行えるよう相談をさせていただき実践実行を行う。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。